

令和5年1月5日発行

【発行元】 鱒沢地域づくり会議  
事務局(鱒沢地区センター)  
TEL 69-1150 FAX 67-2157

【鱒沢の人口】

男性：426人(△1)

女性：454人(±0)

計：880人(△1)

※( )前月比 R4.11.30現在

# ま 報 ざ わ す 廣



あけましておめでとうございます  
今年も宜しくお願い致します



～生涯学習講座～

## 親子で楽しく しめ縄づくり



↑ 縄をなう方法を教わる様子

12月3日(土) 宮守老人憩いの家を会場に鱒沢児童クラブと連携し、生涯学習講座、親子で作る「しめ縄づくり教室」を開催しました。青笹町老人クラブ連合会から5名の方に講師をしていただき、しめ縄の基礎となるワラを3本にまとめる作業から教わりました。そこから縄をなう(ねじる)作業になり、なかなか思うようにまとまらず悪戦苦闘している方が多く見られました。講師の方々



→ 出来上がったしめ縄

が親身に教えてくれたお陰で、大人も子供も夢中になって楽しみながらしめ縄づくりの手法を学びました。

### 【しめ縄とは】

神様が降りた神聖な場所を示すもの。

これが張つてあるところには、不浄のものや悪霊は入れないとされていて、一種の防御壁・魔除けの役割も果たしている。しめ縄飾りを玄関に飾るのは、ここが歳神様を迎える家だということを表す意味があるそうです。

※この事業はみんなで築くふるさと遠野推進事業補助金を活用しています。



↑ 正月飾りを選ぶ様子

暮らしの安心ワーキンググループ(WG)では12月20日(火)にお正月前のわくわく買い物ツアーをおこないました。この事業は地域で安心して暮らし続けることができるように地域としてできる支援を試行しているものです。  
今回は3名の利用者の方とWGメンバー5名、ボランティア(民生委員)1名で「とぴあ」へ行ってきました。利用者さんは「自分の目で見て買い物出来る事やみなさんと外出する機会があると元気になります。」と笑顔で話し、また参加したいとも話していました。



## わくわく買い物ツアー

## 親交婦人会 おせち配布事業

～みんなで築くふるさと遠野推進事業活用～

12月25日(日)下鱒沢の親交婦人会では「おせちの配布事業」をおこない、地区の80歳以上42名のみなさんへ手づくりおせちを配布しました。

親交婦人会の会員7名は、朝から8種類のおせち(味付けごはん、煮しめ、黒豆、柿なます、かまぼこ伊達巻、鶏ハム、かぼちゃの小豆そえ)を調理し、愛情たっぷりのおせちを完成させました。

おせちには手紙とクリスマスにちなんだイチゴのショートケーキを添え、みなさんが元気に過ごしているかを確認しながら地区の有志の男性達が配布をおこないました。



## 地区まちづくり計画事業 WG (ワーキンググループ)

### 暮らしの安心ワーキンググループ

12月12日(月)18:00から宮守老人憩いの家で第2回目のWGを開催しました。12月20日に実施する買い物が困難な方の支援として「お正月前わくわく買い物ツアー」について当日のスタッフの役割分担とタイムスケジュールの確認をおこないました。

また、来年度の事業計画についても検討し、買い物支援は今後も継続していくことを確認しました。さらに協力・連携しあえる企業との意見交換会や先進地の活動状況の把握を行っていきます。

### 交流と継承ワーキンググループ

12月13日(火)18:30から宮守老人憩いの家で7回目のWGを開催し、今年度事業の名所・旧跡4ヶ所への標柱の設置、ハナカジカの生息のための環境整備、鱒沢ひすとリーDVDの完成、鱒沢小学校との名所めぐりの活動についてふりかえりました。

令和5年度の事業計画については、名所・旧跡の標柱設置は継続しておこない、ハナカジカの生息調査や鱒沢地区の「郷土芸能」や「ふるさとの歌」に光をあてていく事業をおこなっていきます。



2023 みずのとう 癸卯 えと じゅうにし じっかん そろそろ希望が芽吹く春がやってくる!?

干支とは本来十二支と十干を組み合わせたものをいいます。この2つの組み合わせは60通りあり、60年をかけて一巡します。十二支は12年間の時間と性質を表し、十干は甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸の10の要素があります。どちらにもそれぞれ意味がありますが「卯」はうさぎの跳ね上がる様子から希望があふれ、景気回復、好転するよい年になると言われ、癸(みずのとう)は物事の終わり始まりを意味し「寒気が緩み、萌芽を促す年」と言われます。この組み合わせから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると言われています。

～皆さまにも希望が芽吹く春が訪れることをお祈りします～

